



第1回少年の主張 雲南市大会

9月13日、吉田中学校で雲南市初開催となる「少年の主張」弁論大会があり、生徒や審査員などおよそ100人が、生徒たちの熱心な意見発表に耳を傾けました。

大会では、市内中学校の代表生徒8人が、それぞれ自らの体験や家庭・友だちとのかわりの中で感じ・考えたことについて、気持ちをこめて

発表しました。

「祖父母とともに」をテーマにして発表した木次中学校の田中さつきさんは、祖父母との生活や会話を通じて、これまでの自分を見つめ直したこと、また、これからの自分のあり方や考え方を話し、最優秀賞に輝きました。

大会が終わると審査員を代表して多根小学校の景山充子校長が「弁士のみなさんの思いが伝わり、来場者も共鳴した感動的な大会になりました」と講評を述べました。

今大会で最優秀賞に選ばれた田中さんは、9月27日に浜田市で開催される「島根県大会」でも、雲南市の代表として発表することになっています。



第1回少年の主張 雲南市大会結果

- 【最優秀賞】「祖父母とともに」……………田中さつきさん(木次中学校3年)
- 【優秀賞】「前向きに生きる」……………勝部隆義さん(大東中学校1年)
- 「大切な人」……………田中絢子さん(加茂中学校3年)
- 【優良賞】「新しい友達」……………長妻美貴さん(海潮中学校3年)
- 「祖母から学んだこと」……………木村里美さん(三刀屋中学校3年)
- 「自分が自分であるために」……………影山奈未さん(吉田中学校1年)
- 「私の夢」……………田部睦美さん(吉田中学校2年)
- 「夢と現実」……………森山もえさん(掛合中学校3年)



こんにちは、**保健師**です。



65歳以上のみなさん
インフルエンザ予防接種を
受けましょう!!

インフルエンザは、毎年冬季に流行します。今年もシーズンを前に高齢者等を対象にした医療機関での「インフルエンザの予防接種」を実施します。

接種を希望される方は、各自で医療機関へ予約し、接種を受けてください。

●実施期間
平成17年11月1日から平成18年1月31日まで

●対象者
市内に住所を有する方で次のいずれかに該当する方です。

・予防接種当日に満65歳以上の方で接種を希望する方

・予防接種当日に満60歳以上65歳未満の方で心臓・腎臓・呼吸器の機能障害のある方、またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害のある方で接種を希望する方

●実施医療機関
雲南市内の医療機関

●自己負担金
1,000円

医療機関でお支払いください。

生活保護世帯の方は無料ですが、「生活保護受給者証明書」を接種の際にご提示ください。

(受給者証明書の発行については各健康福祉センターへ申請してください)

※保険証又は老人医療証を持参してください。

加茂町発

わがまちの

巧み

今月からスタートとしたこのコーナーでは、地域に根付いている伝統工芸や地域ならではの活動をされているみなさんを紹介していきます。

「出雲百両金同好会」

今月は、加茂町在住者を中心に、百両金や万両の栽培、研究をしている出雲百両金同好会(高橋喜一(会長)を紹介しします。



実際に見てみたいと伝わらない百両金の魅力。興味のある方、栽培してみたい方は、高橋喜一さん(☎0854・49・7767)まで
また、今年も次の日程で展示会が開催されるので、みなさんもぜひお出かけください。

第27回「百両金万両展示会」

11月19日(土)〜20日(日)

雲南コミュニティホール(三刀屋町)

百両金の魅力

百両金は、正月に赤や白い実をつける千両や万両、ヤブコウジなどの仲間、古くから「子孫繁栄」、「豊年万作」、「商売繁盛」など縁起物の古典園芸植物として栽培されてきました。

また、その名の由来は、江戸時代に大名が愛好し、珍重されたことから、百両もの値がついたことにちなんでいます。

江戸時代には70品種あった百両金も、近年は、全国的にその姿がほとんど見られなくなり、保存されている品種もわず

かとなりました。

百両金って

百両金は、万両と同様に、挿し木交配による品種改良によって様々な品種が誕生・保存されてきました。

その種は多彩で、実の色の異なる品種、葉にしわやねじれ、斑がある品種、白や紫色の茎の品種など数多くがあり、これらの形態は、葉芸、茎芸など「芸」とい言葉で呼ばれます。

高橋さんに聞く

百両金同好会の高橋喜一さん

(加茂町大竹)は、33年前から百両金の栽培に取り組み、これまでに「喜櫻」、「君倉小判」など新種も誕生させてこられました。

高橋さんは「中山間地域の雲南市は、山に囲まれ、適度な湿度が必要な百両金の栽培には、最適な場所です。

今後は、長年培ってきた栽培技術を継承し、また栽培人口を増やしながら、近い将来、雲南市から全国に発進できる縁起物を数多く作り出していきたい」と話してくれました。

